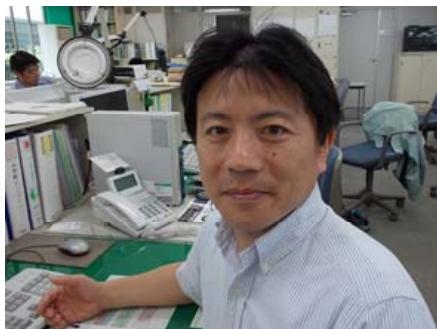




## 今回は、今年度交通基盤部で実施する、「土木施設長寿命化行動方針」の見直し作業についての特集です。

僕から質問  
します。



建設技術監理センター 佐原さん

建設技術監理センターで社会資本長寿命化の推進を担当している佐原さんにお話を伺いました。

### Q. なぜ、土木施設長寿命化行動方針の見直しを行うのですか？

A. これまで、平成16年3月に作成した「行動方針」を基に、各施設で長寿命化に取り組んできました。特に、舗装、橋梁では、中長期管理計画を策定し、計画に基づいた事業を進めています。

一方で、策定から8年が経過し、新たな課題や問題が出てきました。また、県内外で先進的な取組事例や、維持管理に関する新たな知見もあります。

それら新たな情報を反映し、更なる長寿命化の取組を推進するために、見直しを実施します。

### Q. 具体的な見直し内容を教えてください。

A. 主な見直し内容は、

- ①対象施設の追加
  - ②アクションプラン（目標年次）の修正
  - ③点検・維持管理体制の確保
  - ④県民との協働の推進
  - ⑤PPP/PFI等の新たな情報の整理
- を予定しています。

また、対象施設の追加に伴い名称を「**社会資本長寿命化行動方針**」に改めます。

5/23 に第1回委員会を開催し、見直しの方向性について承認されました。現在、具体的な検討を行っています。

### Q. 行動方針の対象となる施設には、どんなものがありますか？

A. 現在の行動方針では、作成当時の旧土木部が所管していた施設が対象ですが、見直しに伴い、都市公園や空港、漁港、農業水利施設などを追加し、現在の交通基盤部が所管する全施設を対象とします。

その中から、施設の特性、重要性などを考慮しながら、優先的に取組む工種を決めていきます。（現在の行動方針では、優先的に取組む工種として、舗装、橋梁、トンネル、斜面、係留施設、水門・陸こう、ダム、下水道管路の8工種となっています。）

### Q. 見直しを、どのような体制で行っていますか？

A. 学識委員と行政委員（交通基盤部長・理事・関係局長）からなる検討委員会を設置して見直しを進めていきます。

また、委員会の下部組織として県庁事業課課長で組織する幹事会、事業課班長級職員で組織する作業部会を置いています。

### ○学識委員については以下のとおりです。

- ・山梨大学名誉教授 檜貝 勇 氏
- ・国土交通省 国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター 建設システム課長 塚原 隆夫 氏
- ・施工技術総合研究所 技師長 竹之内 博行 氏



檜貝委員長挨拶（第1回委員会）

# 施設点検について

今年度も各施設で定期点検（日常巡視、パトロール等）が実施されています。点検は、施設の状態を把握できる手段として、社会資本の長寿命化を進める上で基本となる作業であり、データ取得、落下等第三者被害防止という観点からも重要なものです。また、技術を持ったベテラン職員の退職など職員数が減少する中で、技術力の継承、点検業務の効率化などが課題となっています。行動方針の見直しにおいては、施設点検の在り方についても検討していきます。今回は、点検実施状況について、急傾斜地崩壊防止施設とダム施設について紹介します。

## 斜面施設(急傾斜地崩壊防止施設)

毎年、6月上旬から中旬にかけ、県土木事務所職員、地元市町職員、消防職員、砂防ボランティア等と急傾斜地の点検を実施しています。



急傾斜地パトロール（沼津土木事務所）  
・ 防護柵の損傷を確認中



急傾斜地パトロール（静岡土木事務所）  
・ 擁壁のクラックの有無を確認中

## ダム(太田川ダム)

太田川ダムでは、袋井土木事務所ダム管理課職員が日常的に施設の巡視点検を実施し、ダムの安全管理に努めています。



日常巡視（袋井土木事務所）  
・ 観測データを取得中



日常巡視（袋井土木事務所）  
・ 漏水量を計測中

### <第10号の発行にあたり>

今回は、今年度実施する土木長寿命化行動方針の見直しについて掲載しました。行動方針は、施設の長寿命化全般の基本的な考え方や、その実現に向けた基本ルールを示したものです。見直し作業については、現在各事業課の代表者（作業部会員）と、最新の知見、長寿命化に関する新技術、現在の課題の整理などの議論を実施しており、より効率的な長寿命化を進めるための行動方針に仕上げていきます。

※今回号より、静岡県社会資本長寿命化計画ニュースレターに名称を改めました。

発行・編集  
静岡県建設技術監理センター  
技術支援第2班 佐原・海野

〒421-0122  
静岡市駿河区用宗1丁目10-1  
TEL 054-268-5004  
FAX 054-258-6030